

Frente

フレンテ

フレンテとはスペイン語で
「前向き」という意味です。

vol.47
2011.10

特集

男女共同参画フォーラム

～みえの男女2011～

迷いながらも
わたしが決める
わたしの働き方・生き方

魅力的なオトナを
増やすプロジェクト
2011年の成果とは？

予告！

女性に対する暴力防止セミナー

ストップDV！

“がまんしなくていい！

あなたは悪くない”

～当事者が望む支援とは～

母子家庭等の女性のための
就職準備セミナー

素敵なひとになる。

F



イマドキの学生事情

Essay

コラム

シリーズ 女性と健康③
「働く人のメンタル・ヘルス②」

「就活」をむかえる女子学生のみなさんへ
大槻奈巳さん（聖心女子大学キャリアセンター長）

この日、「魅力的なオトナ」が集合します!

2011年度の講師は、

堂本 暁子さんと湯浅 誠さん

午後からのホールイベントでは、対談「迷いながらもわたしが決めるわたしの働き方・生き方」を開催。講師には、堂本暁子さん（ジャーナリスト、元千葉県知事、元参議院議員）と湯浅誠さん（反貧困ネットワーク事務局長、内閣府参与）をお招きしています。

堂本暁子さん（ジャーナリスト、元千葉県知事、元参議院議員）



TBSに入社後の1989年に参議院議員に当選。2001年には全国で3人目の女性知事となり、任期2期の間に、NPO政策や男女共同参画政策、障がい者政策などに尽力されました。現在は、内閣府障がい者制度改革推進会議構成員、女性と健康ネットワーク代表。また、先の東日本大震災をうけて「災害・復興と男女共同参画6.11シンポ」実行委員会を立ち上げ、委員長を務めています。

湯浅誠さん（反貧困ネットワーク事務局長、内閣府参与）

90年代より野宿者（ホームレス）支援に携わり、「ネットカフェ難民」問題の火付け役となるなど、現代日本の貧困問題を現場から訴え続けています。2008年～09年の年末年始の「年越し派遣村」で村長を務められたことは、皆さんの記憶にも残っているのではないのでしょうか。現在は、NPO法人自立生活サポートセンターもやい事務局長。



◆ コーディネーター:石坂督規さん(三重大学人文学部准教授)

→ 学生とともにワークショップも開催!詳しくはP3をご覧ください

パネル展示
お役立ち情報
・相談ブース
ランチタイム
プログラム

さまざまなパネル展

「今ここで生きる私—三重の女性と『移動』」展、ジェンダー統計パネルなどさまざまな展示を行います。

ランチタイムセッション

お昼を食べながら各ワークショップの報告会を行います。

お役立ち情報、相談ブース

みえチャレンジプラザ、三重労働局雇用均等室、三重行政相談員協議会のそれぞれの相談員が個別相談をお受けします。「働くこと」に関するお役立ち情報も収集できます。

ランチタイムプログラム

ランチタイムにはちょっとリフレッシュ。パパ&じいじカフェや、県内各地の農山漁村女性起業家によるチャレンジマーケットを開催!予約制のお弁当の販売もあります(11月5日まで。700円)



2011年11

三重県男女共同
～みえの男^ひ

迷いながらも
わたしの働



ワークショップも充実!

今回のフォーラムでは、6つのワークショップを開催予定です。

「フレンテみえ」の主催は「災害」「貧困」「若者」の3つキーワードを取り上げたワークショップです。

● 災害と男女共同参画～まず、避難所から考える～

先の東日本大震災では多くの教訓を得ました。
自分たちのまちの防災対策を考える機会とします。
対談講師の堂本暁子さんにもご参加いただきます!

ココをチェック!

堂本さんに現状などを含むお話を伺った後、実際の避難所を想定したグループワークを行います。

● 労働からみる「女性の貧困」

女性の貧困は喫緊の課題です。労働を切り口に、女性の貧困の背景や必要な取組を考えます。

講師 大沢真知子さん(日本女子大学 人間社会学部 現代社会学科教授)

共催:NPO法人四日市男女共同参画研究所

ココをチェック!

NPO法人四日市男女共同参画研究所が実施する「四日市市内の母子家庭の生活実態等に関する調査」の報告を行います。

● 学生に贈る「10年先に笑っている大人になるために」

魅力的なおトナになるためのしゃべり場を開催!働くってどんなこと?
先輩との対話の中で考えます。

共催:ファザーリング・ジャパン 東海

(※3ページで更に詳しくご案内しています)

その他にも「仕事も家庭もどちらも大切～ワーク・ライフ・バランスの観点から～」、「女性農業者の社会参画に向けて」「あらゆる意思決定の場へ女性を～参画のノウハウ～」の各ワークショップや、「理系女性研究者の活躍促進」ポスターセッションも開催します。

なぜいま
男女共同
参画の視点
が必要なのか

男女共同参画社会とは、女性にとっても男性にとっても生きやすい社会です。

私たちは今、少子高齢化・貧困・労働力不足・景気低迷、そして先の東日本大震災といった多くの困難と急速な変化に直面しています。その問題解決のためには、性別に関わりなく、それぞれの能力と個性を十分に発揮できる「男女共同参画」の視点が不可欠です。

今回のフォーラムを通して、具体的な課題について、皆さんと一緒に考える機会を持ちたいと考えています。

フレンテみえでは平成23年度の1年間を通して、「魅力的に生きる“おトナ”を増やすプロジェクト」として、キャリア世代、子育て中の方、イクメン、定年世代といった各対象のニーズに合わせたさまざまな講座を実施しています。このプロジェクトの集大成として、「男女共同参画フォーラム」を開催します。ホールイベントのオープニングでは、この1年をみなさんと振り返る機会として「映像で振り返る“魅力的なおトナを増やすプロジェクト”」を上映します!

魅力的な
おトナを増やす
プロジェクトとは

みなさん
のご参加を
お待ちしております!

※申込・詳細等は
フレンテみえまで

若い世代が魅力的な“おトナ”になるための、しゃべり場を開催!
次ページもチェック!

「男女共同参画」社会とは、一人ひとりが性別にかかわらず自立した個人として自分の個性や能力を十分に発揮することのできる社会のことです。このフォーラムは男女共同参画社会づくりのために県内各地の人々が一堂に会し、さまざまなテーマで考え交流する場です。フレンテみえ開館当初から、毎年開催しています(はじめは“女性フェスティバル”という名前でした)。



ワークショップ

学生に贈る「10年先に笑っている大人になるために」

制作現場レポート!



2011.10.05 @三重大学人文学部講義室

学生にとって“働く”とはどんなイメージでしょうか?今年のワークショップでは学生の皆さんに就職活動が始める前に、ぜひ「働くこと」、社会に出てからの自分自身の生き方を考える機会を持ってもらおうと企画しました!

ワークショップに先駆けて今の学生がどんな事を考えているのかインタビューしてきました。
自分は将来どんな風に働きたい??

お金?

就職を選ぶに当たってはやっぱりお金。
内容に見合った給料をもらえる仕事に就きたい。
でも自分の時間は大切にしたい。
自分一人で家族を養っていけるような仕事をしたい。
(男子学生A)



子ども?

子どもができれば子育てに専念したい。
仕事は非正規雇用で構わない。(女子学生X)

キャリア?

働き続けたいけど、子どもも欲しい。
先輩たちから聴くと、出産後働き続けるのは
難しそう…。一度中断してもキャリアを積み
上げられる会社があればいいんだけど。
(女子学生Y)



人のために働きたい。お金ではなく
人のために何が出来るかを考えて働いていきたいな。
(男子学生B)

時間?

自分の趣味の時間が重要。
仕事ばかりってなるのはなあ…。
給料が安くても自分の時間を大事にしたい。
(女子学生Z)



comment

ワークショップ講師 石坂 督規 さん
(三重大学人文学部准教授)

就職活動を進める時に、自分が何をしたいのか、どんな将来像を描いていくのか、自分を見つめ直す事は重要なことです。今の学生はインターンシップで企業に行く機会があり、仕事とはどんな事をするのかはイメージがし易い環境にはあります。しかし、自分がどのようにキャリアを積んでいくのか、どんな生き方をしていくのかはイメージが持てていないようです。

三重県は、女性は出産で一度会社を辞めて、子育てが一段落した頃に再度働き出すM字曲線が顕著に現れている県です。就職すること自体が難しい今だからこそ、これから社会に出ていく学生たちに「10年先」を見据えた働き方、



生き方を考えて欲しいと思います。
ワークショップを通して、働く事は辛いことや苦しいことだけではなく、楽しい事ややり甲斐があることに希望を持って欲しいと思います。



どうやって働いていきたいか
まだまだイメージが湧かないな。
(男子学生C)

皆さん社会に出て「働くこと」に関して何を優先事項にするかさまざまな意見を持っていました。

このワークショップでは、すでに社会に出ている県内外の先輩達をお迎えし体験談をお話いただきます。

また、学生同士で「働くこと」について自分の考えを話し合う時間もあります。

就職活動が始める前に知っておきたい「10年先」の自分の働き方、生き方を考えてみましょう!

Essay

多様化する 女性の生き方 のなかで

「就活」をむかえる 女子学生みなさんへ

執筆者 大槻奈巳さん

聖心女子大学准教授・キャリアセンター長

働くことをどう考えていますか？

「就活」ときいて、みなさんどんな気持ちになりますか。「就職活動がんばらなくては!」と思いますか。それとも「就職活動って大変そう」と不安ですか。もしくは「学生のままだいい、働くのっていや」と思っていないですか。

近年、就職活動が長期化していますが、私は学生のみなさんから就職活動にむかって何をすればいいのかよく聞かれます。そんな時、就職活動の準備として**1. 自分に力をつけること、2. 自分にどんな力があるか確認すること、3. 自分の持っている力を伝えられるようになること**、が重要と答えています。

自分に力をつけることは、簡単にはできません。長い時間をかけて培われる「人間としての力」、みなさん持っていますか。大丈夫、みなさん、「ある程度」は持っています。自分にどんな力があるか確認してください。小学校、中学校、高校、大学のその時々でどんなことが好きでしたか、どんなことを一所懸命やりましたか、どんな力がついたと思いますか。紙に書きだして、自分の持っている力を確認しましょう。好きだった授業を通して何を学んだかも忘れないでください。

自分が驚いたり感心したり一生懸命やった学びから何を得たか整理してみましょう。

そして、「人間としての力」をもっとつけていきませんか。これは就職活動のためだけではありません。これから社会にでて、人生89年（現在の女性の平均寿命86歳、みなさんの頃は89歳）生きていくなかで、必要です。いま持っている力を確認してわかったように、人間としての力は様々な経験や学びを通して得られていきます。自ら考え自ら動き、いろいろな経験や学びを積み重ねて人間としての力をつけていきましょう。

執筆者
プロフィール

大槻 奈巳さん

聖心女子大学准教授・キャリアセンター長。専門は職業社会学、労働とジェンダー研究。女性と男性の働き方やキャリア形成の違いを社会構造の視点から研究しています。特に女性のキャリア形成支援に関心があります。現在は、○雇用流動化と男性の働く意識の変化○若年キャリア形成のジェンダー格差○非営利団体の機能と女性のキャリア形成○介護職における職務と賃金格差○人身取引問題と日本人の意識○大学における男女共同参画、などの研究に携わっています。

就職は、社会に出てこれからを 生きていく 最初の一步

最後に、自分の持っている力を伝えられるようになることです。あなた自身にしか語れない言葉で自分の持っている力を伝えてください。自分自身にしか語れない言葉は自分の経験のなかにあります。

自分がどんな経験し、どんな力を持っているかを確認し、それを伝えるようになること、これが就職活動への準備です。

就職することはゴールではありません。社会に出てこれから生きてく最初の一步です。漠然とでもいいので、人生を通して自分はどう生きていきたいのか、どうしたいのかを考え、その中に「就活」や「働くこと」を位置づけていきましょう。

近年、若年女性のなかで「男は仕事、女は家庭」という性別役割分業に賛成する人の割合が増える傾向にあることが指摘されています。また、2005年に厚生労働省が行った出生動向基本調査によると、働いている女性のうち結婚や出産を機に辞める人が約65%いました。この割合は1985年の調査で約70%でしたから、あまり変わっていません（最新の調査は昨年実施されましたからもうすぐ結果が出ると思います）。一方で、子育てが一段落したら再び働く女性も多いのですが、実際のところ、再就職しようと思っても雇用条件が厳しい仕事が多い、あからさまではないが年齢制限があるなど再就職の壁があります。このような社会の構造を考えながら自分の道を考えることも重要です。

学生時代は学生であることが一番のように思いがちですが、社会に出るともっと面白いことがいっぱいあります。就職活動、ちょっと大変ですが、社会に出る前のひとつの準備と思ってがんばりましょう。



裏面
「ゆめぶち」
4コマも
チェック!
(今号は学生版だよ!)

Report

フレンテみえ男性講座

楽しみながら目指そう！育-MEN！

8/28日 イクメン応援フェア！ 2011

男性の育児・家事参加の“きっかけ”に—
がんばれ！子育てパパ！

毎年、子育て世代の男性向けに企画している男性講座。今年は「イクメン応援フェア！」として開催。父子が一緒に楽しく時間を過ごせる様々な企画で、延べ200名を超えるたくさんのパパ、ファミリーにご参加いただきました！

「イクメン応援ワークショップ」では、県内で活躍する男性（パパ）グループ3団体に企画からご協力いただきました。アクリルボールや紙ひこきを作ったり、最後にパパから金メダルがもらえる“チビリンピック”を行ったり。その他、ママのためのハンドマッサージやソフリエ（※）による“むかし遊び”のコーナーも設置。各ブースで楽しく遊ぶ子どもたちのほほえましい光景に癒されました。

ワークの後はお待ちかねの「えほんうたライブ」。西村直人さん（NPOえほんうた・あそびうた代表）にお越しいただきました。2回の公演は大盛況！ライブの最後には「気負わずでできることから・・・」と先輩イクメンの西村さんからアドバイスも。たくさん遊びながら父子が同じ時間を楽しみ過ごすことで、多くの方に「イクメン」への扉を開けるきっかけとしていただけたようでした。

フレンテの「子育て世代向け男性講座」は、また来年に向けて新たな企画を考えて、多くの皆さまのご参加をお待ちしています！

協力：ファザーリング・ジャパン東海、ちよいつおやじの会、Happyよかパパ、なちゅーら、ソフリエみえ

※ソフリエとは・・・子育てができる祖父に与えられる資格。東京・杉並区に本部がある NPO 法人の「エガリテ大手前」が認定しています。フレンテみえでは、5月に 定年世代向け男性講座「カッコイイじいじになるう～ソフリエ資格を取って地域デビュー～」を開催。その後、当講座の受講生により日本初のソフリエ活動グループ、「ソフリエみえ」が結成されました。

Report

地域リーダー養成講座

連携・協働による実践プログラム in 三重

8/6土、8/7日 私たちのまちの“課題”って？

男女共同参画の視点を持って地域の課題を解決する人材を育成する事を目的として、2日間の連続講座を開催しました。

まず“自分のまちを知ろう”というテーマで、統計や情報を活用して男女共同参画の視点を学び、他県との比較を行うことで三重県の現状を学習しました。

ワークショップでは住んでいる地域に分かれて自分たちのまちの課題を話し合いました。それぞれの地域で課題となっている事はさまざま。課題を基に『防災の場に女性の参画』、『意思決定の場への女性の参画』、『男性の生活自立』、『子育て世代の男性の家事・育児参画』、『公民館での男女共同参画講座』など、5つの課題解決のための実践プランができあがりました。

講座終了後も各グループで企画したプランを元に、地域で活動を続けていきます。



講師：独立行政法人 国立女性教育会館（NWE）
森 未知さん
財団法人 大阪府男女共同参画推進財団
仁科 あゆ美さん

Report

経済的に困難な状況にある女性を
支援するための地域展開研修

9/1木、9/2金

母子家庭等の女性のための支援機関担当者等を対象に、経済的困難を抱える女性たちの生活・就労の実態を把握し、自立に向けた必要な支援策を考える研修を行いました。

公開講座では、しんぐるまざあず・ふおーらむの赤石千衣子さん、みずほ情報総研株式会社の山岡由加子さん、NPO法人四日市男女共同参画研究所の坂倉加代子さんから、当事者の立場に立った支援の重要性についてお話しいただきました。

フレンテみえでは母子家庭等の女性を対象とした“パソコン講座”や就労に向けた講座を実施しており、今後地域でも実施できるように支援していきます。

Report

ピンクリボンセミナー&キャンペーン

株式会社パソナ共催事業

10/9日

10月のピンクリボン月間（乳がん啓発月間）に合わせて実施しました。

「乳がん」や「女性の生涯にわたる健康や性」について考える機会として、多くの方に知っていただけるようセミナーと「キャンドルナイト」を実施し、約80人の参加がありました。参加者からは「検診の重要性がよくわかった」「自分のからだを知ること、日々の健康管理が大切だと思った」などの感想をいただきました。

フレンテ
イメモ

DVとは？



働く人のメンタル・ヘルス ②



執筆者 三重県立こころの医療センター

臨床心理士 仲世古 裕子さん

前回のコラムでは、ストレスによって引き起こされる心身の変化について書きました。今回は、ストレスへの対処法についてです。

働く中でストレスと感じる状況は様々です。仕事の量や内容、仕事上のミス、上司からの叱責、責任者としての重圧、職場での人間関係、等々…。同じ出来事が起こったとしても、すべての人が同じようにストレス反応を起こすわけではありません。何をストレスと感じるかは人によって違います。ものごとの感じ方や考え方は人それぞれです。ここで大切なのはストレスをどのように受け止めるか。受け止め方によってストレスによる影響は軽くなったり重くなったりします。例えば、仕事中に社用車（しかも新車）をぶつけてしまったら…。「まずい」「怒られる」「弁償だ」「取り返しのつかないことをしてしまった」。暗い気持ちになり、「解雇されるかも…」と焦りも不安も広がります。ですが、「人を巻き込むような事故にならずに済んだ」「けがはなかったから仕事は出来る」と受け止められれば、「次からはもっと注意して運転しよう」「今後の仕事で挽回しよう」と、気持ちも行動も前向きに変化します。仕事でミスをした時も、「自分は価値のない人間だ」と自分を責めて追いつめてしまうと気持ちは落ち込み、悪い方向にばかり向かいますが、「今後の成功のために学習できた」と受け止められれば、失敗から意欲をもって立ち上がれるのではないのでしょうか。立ち上がることであれば、いろいろな新しい可能性も拓けてきます。人は、状況は変えられなくても自分の受け止め方を変えることができます。ものごとを前向きに捉えようと試みることは、人生の可能性を拡げていくことにつながるのではないのでしょうか。

とはいえ、大変な状況のときに、いろいろな考え方や対処方法を自分ひとりで模索していくことはなかなか難しいこと。他者とのコミュニケーションは、「自分とは違う視点」を得られる機会でもあり、何よりも一緒に考えてくれる人がいるということは大きな支えになります。人同士のつながりの希薄さが心配されている現代社会の中で、支えにつながるようなコミュニケーションを普段からどう築いていくか。働く人のメンタルヘルスを考えていく上で、重要な課題と言えます。

地域開催 女性に対する 暴力防止セミナー

ストップDV! “がまんしなくていい!あなたは悪くない”

～当事者が望む支援とは～

日時: 2011年11月19日(土) 13:30～16:00 (13:00開場)

会場: 松阪市産業振興センター 3階研修ホール (松阪市本町2176番地)

本年度は、松阪市と共催して、DVの被害を受けた女性や子どもたちがDVを乗り越えるためには何が必要かについて考えます。

講師には、児童虐待やDVなど暴力の被害体験を乗り越え、様々な活動をされている藤木美奈子さん(NPO法人WANA関西代表、龍谷大学准教授)をお招きします。ご自身の体験をもとに、どのように被害体験を乗り越えたのかを分かりやすくお話いただきます。藤木さん自身の力強い生き方からたくさんのパワーがいただけることと思います。お知り合いの方もどうぞお誘いあわせください。ご参加をお待ちしています。

*朗読劇「ひまわり～DVをのりこえて」(公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会 企画・制作作品)

演者: 情報ネットワーク「あ・うん」

*三重県からのDVに関する報告

報告者: 宮本 隆弘さん(三重県健康福祉部こども局こども家庭室長)

主催: 三重県・三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」 共催: 松阪市

▼申込不要 託児ご利用の場合を除き、事前申込は不要です。当日会場へお越しください

▼託児無料 (0歳～小学生) ご希望の方は11月11日(金)までにお申し込みください

▼要約筆記あり

☆11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」の期間です



11/20 (日)
10:00～15:30
開催!

～わたしらしく生きていこう!
“しごと”をスタートする前に～

母子家庭等の 女性のための

就職準備セミナー



共催: NPO法人全国女性会館協議会
(日本マイクロソフト株式会社社助成事業)、
ハローワーク津マザーズコーナー

履歴書の書き方や面接に向けた心構え等、就職に向けたステップとなるイベントです。メイクアップ講座や相談ブースも開設! 子ども向けの楽しいイベントも同時開催。参加者同士の楽しい交流会もあります。あなたらしい自立に向けて、一緒に踏み出しましょう!(無料託児あります)

▼対象: 母子家庭、生活保護受給者、児童扶養手当受給者、ひとり親家庭等医療費補助者、母子生活支援センター等入居者、民間シェルター入居者などこれに準ずる経済的に困難な状況にある女性

▼会場: 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」

▼詳細・申込等: 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」まで

※詳細はホームページをご覧ください!

E-mail : frente@center-mie.or.jp